

株主メモ

【事業年度】	毎年11月1日から翌年10月31日まで
【定時株主総会】	毎年1月
【基準日】	毎年10月31日
【株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関】	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
【株主名簿管理人事務取扱場所】	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

【郵便物の送付先または連絡先】	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話照会先 ☎0120-782-031
※株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について	証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は上記の電話照会先にご連絡下さい。
※特別口座について	株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

【株式に関するお手续のホームページURL】	http://www.smtb.jp/personal/agency/
【公告方法】	電子公告によって(電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して)行います。

IRページのご案内

当社では、月次売上速報や決算短信などをホームページ(<https://www.his.co.jp>)で公開しております。最新情報を適時掲載しておりますので、ご利用下さい。

株主様ご優待のお知らせ

毎年4月及び10月の末日現在において、株主名簿に記録のある100株以上の株式を所有されている株主の皆様にご優待券をお送りいたします。今回お送りする株主優待券及びハウステンボス・ラグナシアご入場割引券は来年(平成31年)の1月31日までご利用になれます。

【株主優待券】
当社、ハウステンボス株式会社(ハウステンボス直営ホテルの自社宿泊プランに限らせていただきます)、株式会社クオリタ、株式会社クルーズプラネット、及び株式会社欧州エクスプレスの商品にご利用いただける株主優待券です。



100株以上…2枚
500株以上…4枚
1,000株以上…6枚

ご利用にあたっては、ご予約された営業所にご持参またはご郵送下さい。また、当社の商品券[SKY]と併用してご利用することもできます。

【ハウステンボスご入場割引券】
ハウステンボス株式会社が運営する、ハウステンボス(長崎県佐世保市)にて、ご利用いただける入場割引券です。



100株以上の株式を所有されている株主様に一律1枚お送りいたします。

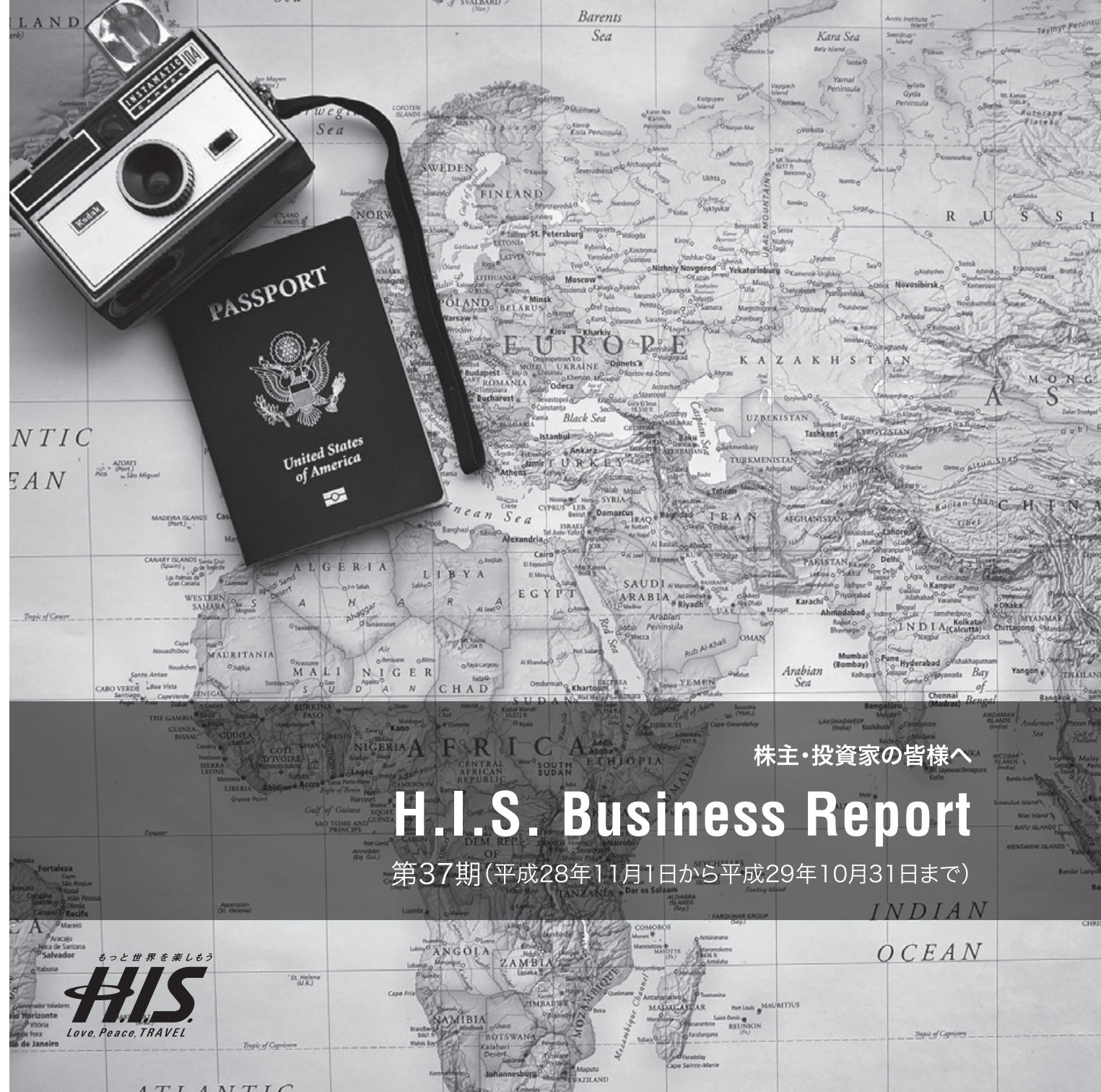
ご利用にあたっては、ハウステンボス料金所で入場券をご購入される際に本券をご提出下さい。ハウステンボス料金所での購入時のみ利用可となっております。

【ラグナシアご入場割引券】
株式会社ラグナテンボスが運営する、ラグナシア(愛知県蒲郡市)にて、ご利用いただける入場割引券です。



100株以上の株式を所有されている株主様に一律1枚お送りいたします。

ご利用にあたっては、ラグナシア料金所で入場券をご購入される際に本券をご提出下さい。ラグナシア料金所での購入時のみ利用可となっております。



株主・投資家の皆様へ

H.I.S. Business Report

第37期(平成28年11月1日から平成29年10月31日まで)

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

皆様にH.I.S. Business Report (平成28年11月1日から平成29年10月31日まで)をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当連結会計年度における経営環境は、国際情勢においては地政学的リスクが伴ったものの、国内においては、雇用・所得環境の改善や各種の政策効果もあり、景気は緩やかな回復基調が続きました。このような環境の中、当社グループは、拡大している事業領域へ対応すべく体制の再編を行うとともに、「自然の摂理にのっとり、人類の創造的発展と世界平和に寄与する」という企業理念のもと、旅行のみならず様々

な事業を通じて、常に変化・発展し続ける企業として、世界の平和に貢献できる新しいビジネスモデルの構築を目指してまいりました。主な取り組みにつきましては、本書3ページ以降にTopicsとして記載させていただいておりでございます。

以上の結果、当連結会計年度における連結業績は、売上高は過去最高の6,060億24百万円(前期比115.7%)、営業利益は159億15百万円(同111.5%)となりました。また、経常利益は為替差益22億75百万円(前期は為替差損67億98百万円)を計上し196億47百万円(同227.2%)、親会社株主に帰属する当期純利益は過去最高の132億59百万円(同4,964.5%)となりました。

世界中に広がる地政学的リスクや、中国及びアジア新興国などの不安定な経済の先行きなど、世界を取り巻く環境は不透明感が続き、当社事業に影響を及ぼす要因が継続すると思われます。加えて、急速な拡大を続けるオンライントラベルエージェントや、新たなテクノロジーを用いたサービスの登場など、市場の垣根を超えた大きな変化が予測されます。このような環境の中、当社グループがもつグローバルネットワークにおける各社の相乗効果を最大限にいかし、既存のビジネスのさらなる進化に加え、M&Aによる新領域への進出など、市場の変化に合わせた展開を推進するとともに、生産性やイノベーションをより意識し、業績のさらなる向上を図ってまいります。ハウステン

ボスでは、無人島を活用したオンラインイベントの計画や「変なホテル」の国内外における展開、電力事業の本格的なスタートなど、今後も様々な事業領域において新たなチャレンジを行ってまいります。

株主の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしますとともに、今後とも当社グループをご愛顧賜り、一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年1月

代表取締役会長兼社長

最高経営責任者(CEO) 澤田 秀雄



旅行事業

●日本における旅行事業

海外旅行においては、欧州旅行需要の回復に加え、スイスの特別展望台での天体観測付きツアーがツアーグランプリを受賞するなど、引き続きオンリーワン商品の展開強化につとめました。国内旅行においては、国内航空券サイトの新規オープンや、バスツアーサイトのリニューアル、宿泊施設の直販支援サービスの開始など、新たな展開を実施いたしました。



▲スイスイメージ

国内航空券サイト▼



◀国内バスツアー

●訪日旅行事業

アジア各国にて営業を強化しているMICE事業において、順調に受け入れが拡大していることに加え、欧米を中心にBtoBの取り扱いも好調に推移いたしました。



▲訪日旅行者

●海外における旅行事業

経済発展により海外旅行者数が急増しているアジアの旅行需要を取り込むべく、引き続き経営資源を投入し強化しております。加えて、北米でのアウトバウンドのシェア拡大を見据え、カナダを拠点に旅行事業を展開する「Merit Holdings Inc.」を子会社化いたしました。さらに、欧州でトップシェアを誇るランドオペレーター「GROUP MIKI HOLDINGS LIMITED」を子会社化し、欧州のインバウンドにおいても、旅先での旅行商品やサービスの提供をより一層強化してまいります。



▲ホースシューベンド (アメリカ)



▲エッフェル塔 (フランス)



◀タージ・マハル(インド)

ハウステンボスグループ



▲九州一花火大会



▲VR「ウルトラ逆バンジー」



VR-KING ▲



光の王国 ▶



▲ロボットの館

●ハウステンボス

当期開業25周年を迎え、新たに第6の王国「ロボットの王国」が加わり、さらなるオンリーワン・ナンバーワンコンテンツの提供により、ハウステンボスでの体験価値向上に注力してまいりました。世界一の効率経営をめざす「変なホテル」では、“初めてロボットがスタッフとして働いたホテル”としてギネス世界記録に認定されました。新規施設としては、VR(仮想現実)コンテンツが一堂に揃う「VRの館」を開設いたしました。夏には「バハムートディスコ」のオープンに加え、世界最強のVRコースター「VR-KING」もオープンし、日本最大のVRテーマパークとしても進化し続けています。

また、人気のコンテンツを東京・大阪でも展開するなど、認知度向上とマーケット拡大のため新たな取り組みも実施いたしました。

●ラグーナテンボス

人気のプール施設において、昨年好評だったナイトプールの強化を行い、集客強化に努めました。また、初のテーマパーク直結ホテルとして「変なホテルラグーナテンボス」を開業し、新たなマーケットの獲得に努めました。



▲「お台場ウォーターパーク by ハウステンボス」



▲ナイトプール



「変なホテル ラグーナテンボス」▶
フロント・ロビー

ホテル事業



▲ グリーンワールドホテルグループ



◀ 「変なホテル舞浜 東京ベイ」
フロントイメージ



▲ 変なホテル
ラグーナテンボス



▲ 客室に設置された
コミュニケーションロボット「Tapia」

中長期的に100軒の展開を実現するため、平成28年11月にホテル事業を統括するH. I. S. ホテルホールディングス株式会社を設立いたしました。旅行事業・ハウステンボスグループに続く第3の柱として強化を図り、ホテル客室不足が深刻化する東京・大阪・京都等の国内、及びアジア顧客が好む旅行先を中心とした海外での、ホテル展開の検討・準備を進めております。当期においては、3月に「変なホテル舞浜 東京ベイ」(千葉県浦安市)、8月に「変なホテル ラグーナテンボス」(愛知県蒲郡市)と、2軒の新たな「変なホテル」のオープンに加え、台湾のホテルグループ「Green World Hotels Co., Ltd.」を子会社化いたしました。既存施設では、グアム リーフ&オリーブスパリゾート(グアム)において、団体受客の強化やWEB予約への移行などの施策により、順調に推移いたしました。

運輸事業

ASIA ATLANTIC AIRLINES CO.,LTD.は、第3四半期連結会計期間末において連結子会社から持分法適用関連会社となりました。



▲ アジアアトランティックエアラインズ

九州産交グループ

熊本地震から1年が経過し全体的に回復基調が見られ、減少していた高速バス事業が好調に推移いたしました。また桜町再開発事業につきましても、平成29年2月に起工式を執り行い、工事は順調に進捗しております。



▲ 桜町再開発事業完成イメージ

連結財務諸表

連結貸借対照表 (平成29年10月31日現在) (単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	283,485	流動負債	131,866
現金及び預金	193,039	営業未払金	23,590
売掛金	34,801	旅行前受金	58,437
営業未収入金	6,194	その他	49,838
旅行前払金	28,062	固定負債	179,694
その他	21,388	社債	40,000
		転換社債型新株予約権付社債	20,073
		その他	119,621
		負債合計	311,561
固定資産	139,095	純資産の部	
有形固定資産	83,001	株主資本	83,437
無形固定資産	17,666	資本金	11,000
投資その他の資産	38,427	資本剰余金	3,581
		利益剰余金	92,731
		自己株式	△23,875
		その他の包括利益累計額	2,336
		新株予約権	252
繰延資産	227	非支配株主持分	25,221
		純資産合計	111,247
資産合計	422,809	負債純資産合計	422,809

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書 (平成28年11月1日から平成29年10月31日まで) (単位:百万円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,369
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,209
財務活動によるキャッシュ・フロー	29,769
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,886
現金及び現金同等物の増加額	38,816
現金及び現金同等物の期首残高	129,842
現金及び現金同等物の期末残高	168,659

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書 (平成28年11月1日から平成29年10月31日まで) (単位:百万円)

科目	金額
売上高	606,024
売上原価	491,285
売上総利益	114,738
販売費及び一般管理費	98,822
営業利益	15,915
営業外収益	5,529
営業外費用	1,797
経常利益	19,647
特別利益	2,009
特別損失	926
税金等調整前当期純利益	20,730
法人税等	4,895
当期純利益	15,835
非支配株主に帰属する当期純利益	2,575
親会社株主に帰属する当期純利益	13,259

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(平成29年10月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	88,551,450 株
発行済株式の総数	68,522,936 株
株主数	12,406 名

大株主の状況(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
澤田 秀雄	19,136	32.50
有限会社 秀インター	3,458	5.87
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,361	4.01
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,077	3.52
全国共済農業協同組合連合会	1,334	2.26
THE BANK OF NEWYORK 133524	1,109	1.88
行方 一正	1,021	1.73
澤田 まゆみ	950	1.61
BBH/SUMITOMO MITSUI TRUST(UK) LIMITED FOR SMT TRUSTEES(IRELAND) LIMITED FOR TOKIO MARINE JAPANESE EQUITY FORCUS CLT AC	857	1.45
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	832	1.41

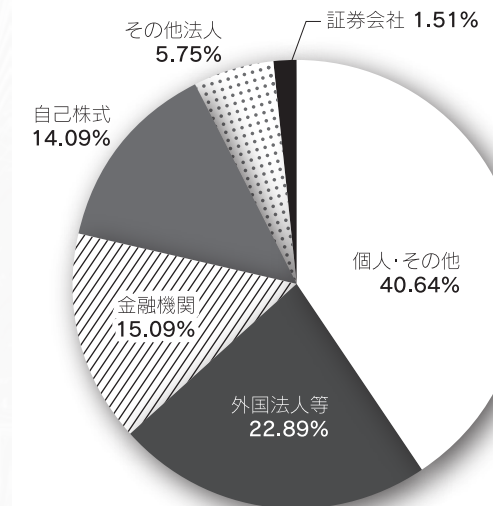
(注)当社は自己株式(9,656,406株)を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

会社概要

商号	株式会社 エイチ・アイ・エス
英文社名	H.I.S.Co.,Ltd.
本店	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号
設立	昭和55年12月19日
資本金	110億円
従業員数(連結)	13,510名(この他に、契約社員、見習社員、アルバイトが在籍しております。)
主要な事業内容	旅行業法に基づく旅行業(観光庁長官登録旅行業第724号)を営んでおり、海外旅行業務及び国内旅行業務、航空券の取次販売、手配旅行、企画旅行及びこれらに伴う現地手配と渡航手続並びに旅行傷害保険の代理業務を行っております。
国内・海外拠点数	国内 286拠点/海外 70カ国 156都市 271拠点
ホームページ	https://www.his.co.jp

株式分布状況

所有者別株式分布状況



会社役員

代表取締役会長兼社長(CEO)	澤田 秀雄
取締役 副会長	平林 朗
常務取締役	中森 達也
取締役 役	楠原 成基
取締役(CFO)	中谷 茂
取締役(CHO)	坂口 克彦
取締役 役	織田 正幸
取締役 役	山野 邊 淳
取締役 役	高木 潔
取締役 役	行方 一正
取締役(CIO)	富田 直美
取締役監査等委員	平田 雅彦
取締役監査等委員	梅田 常和
取締役監査等委員	関田 園子

(注)取締役監査等委員である平田雅彦氏、梅田常和氏は独立社外取締役であります。

(注)平林朗氏、高木潔氏は平成29年10月31日終了をもって辞任され、取締役を退任しております。